



学校だより



福島県立大笹生支援学校

NO.2 R2.7.31

1学期の活動報告

小学部、中学部、高等部の学習の様子をお伝えします。

小学部

6月より「水遊び」が始まりました。子どもたちが楽しみにしている学習の一つで、中庭に大、中、小のプールを設置して行います。梅雨の晴れ間の青空のもと、暑さを忘れ、心地よい水の感触を身体全体で感じながら活動しています。「体操をしてシャワーを浴びること」「走ったり飛び込んだりせず安全に入ること」などの約束も、体験を通して学んでいきます。じょうろや水鉄砲で水をかけ合って思い切り遊んだり水を顔につけたり、わに歩きやバタ足に挑戦したりと、生き生きと活動することができました。



中学部

総合的な学習の時間に、「地域交流」として地域の施設を調べたり地域の方々からお話を伺ったりする学習を行いました。3年生は、学校周辺にある果樹園について調べました。さくらんぼを栽培している果樹園では、さくらんぼの種類や収穫時期など教えていただいたり、日光がさくらんぼにあたるよう、実の周辺にある葉を束ねる作業の体験などをさせていただいたりしました。学習した内容は、授業参観時に保護者の方々に発表しました。普段は中に入ることができない果樹園で様々なことを体験することができ、地域を知る貴重な学習となりました。



高等部



6月8日から19日まで、「目指す自分の姿」をイメージし、そのための必要な力や経験を探して「進路実現」を目指す「キャリアアップ週間」を行いました。係の先生と「働く」意味や「将来の生活」について話し合い、「働く社会人」になるために学校でどんな学習をするのかを知ったり、卒業生が働く姿を映像で見て「働くこと」をイメージしたりすることができました。今までの実習先から「身に付けておくとよいこと」を聞き、「今、何をすべきか」「どんな生活をすればよいか」など、自分の生活を振り返る機会にもなりました。その後の作業学習では、「集中して取り組むこと」や「一定時間、活動できる体力をつけること」の大切さなども学ぶことができました。



不審者対応職員研修会

7月3日（金）に今年度の転入者約30名が参加し、不審者対応職員研修会を実施しました。はじめに福島北警察署の方の講演を聞き、その後は2班に分かれて、不審者が校内に侵入した際にどのように対応すべきかを詳しく教えていただきました。実際にさすまたを持ってみると、予想より重いことや使い方が難しいことなどがわかり、緊急時の対応について改めて考える良い機会となりました。



(学校だよりはHPでもご覧いただけます。)